



創発的研究支援事業

令和7年度補正予算額

133億円



事業の概要

挑戦的・融合的な研究構想に、リスクを恐れず挑戦し続ける**独立前後の研究者**を対象に、**最長10年間の安定した研究資金**と、**研究に専念できる環境**を一体的に提供。



博士・ポスドク等

“創発研究者”

中堅独立研究者

応募要件：

独立前後の研究者

- 博士号取得後15年以内
(出産・育児等経験者は要件緩和)

■ 最長10年間(通常7年)、700万円/年(平均)+間接経費

- 研究以外の業務代行経費や、自身の人件費も支出可能
- 研究の状況に応じ、リサーチアシスタント (RA) として参画する博士学生等への人件費を追加支援
- さらに、国際競争力や研究者の融合・流動性等を強化する取組を実施予定



**破壊的イノベーションに
つながる成果の創出**

科学技術振興機構
(JST)

基金を造成

※2段階の書面+面接審査
により人物本位で**挑戦性・
独創性**などを評価。



**意欲と研究時間を最大化し、
生き活きと研究に専念**

- 創発研究者が**研究に専念できる環境確保に取り組んだ**
大学等に対し追加支援 (研究時間、ポスト、スペース、スタッフ 等)

研究キャリアの発展的展開を支援

- JSTのプログラムオフィサーによるメンタリングや
研究者同士が触発する“場”を形成



**最適な研究環境のもと
更なるステップアップへ**
(大型資金、企業連携、拠点長、起業…)